

2023年 東京家政大学博物館 常設展・イベントスケジュール



開館時間 ▶ 10:00～16:30

会場 ▶ 百周年記念館4階展示室

入館料 ▶ 無料

学園の歴史

常設展①

学園の歴史と創設者

本学の基礎を築いた校祖渡邊辰五郎と大学開学当初の学長青木誠四郎の業績、また二人が掲げた建学の精神「自主自律」、生活信条「愛情・勤勉・聡明」を併せてご紹介します。

渡辺学園裁縫雛形コレクション

裁縫雛形は、明治から昭和にかけて、裁縫の練習のために授業で製作された衣服や生活用品等のミニチュアです。校祖 渡邊辰五郎が考案した裁縫教授法のひとつで、布地と時間が節約できる画期的な方法として好評を得ました。

このコーナーでは、和装、洋装、有職類、生活用品の裁縫雛形を展示しています。

渡辺学園の歩み

本学「学校法人渡辺学園」は、明治14年、渡邊辰五郎が本郷区湯島の地に開設した私塾「和洋裁縫伝習所」としてはじまりました。このコーナーでは、学園設立時から現在に至るまで、伝統ある本学の歩みの一部をご紹介します。



前期コレクション展示

常設展②

日本の食 ー身近にある食ー

期 間 ▶ 2023年4月12日(水)～7月24日(月) (予定)

人間にとって「食えること」は生きていくうえで欠かせない、生活の一部です。

生まれる前は、母親が食事をした栄養を、おなかの中でもらいながら成長します。誕生してから、母乳やミルクに始まり、離乳食、給食、おやつ…と毎日食事をとります。

普段の食事以外にも、年中行事や祝い事の際には行事食や祝い膳などの特別な料理を食べたり、神様に供えたりします。またその土地ならではの郷土料理や、家庭の味といった「食」もあります。

このように、私たちの周りには様々な「食」があふれています。今回の展示では、私たちの身近にある「食」について、日本の文化や歴史を交えながら紹介します。



道中弁当
年代不詳



氷冷蔵庫
昭和時代前期



箱膳
年代不詳



ドールハウスのキッチンセット
1990年代

後期コレクション展示

常設展②

Vence フレネ学校の児童画 ー造形表現と人間形成ー

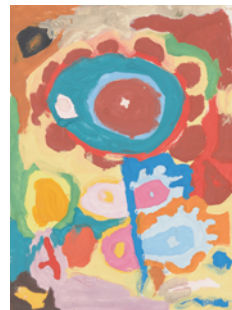
期 間 ▶ 2023年9月15日(金)～2024年1月22日(月) (予定)

本展では、フレネ教育の実践の地であるフランス・ヴァンスのフレネ学校において、1950～1980年代に描かれた絵画作品を中心に紹介します。

フレネ教育は、セレスタン・フレネ(1896～1966)が提唱し、妻エリーズとともに実践した教育法で、「現代学校運動」の名で世界に広まりました。その教育の特徴は、子どもを主体とし、「自由作文」や造形活動といったさまざまな「手仕事」の実践をとおり、子どもの自発的成長を促すことです。

安心して自己表現できる環境で描かれた作品は、作者である子ども自身の伝えたいこと、描きたいこと、語りたいことであふれています。

画面を埋め尽くす色とかたち。子どもたちの自由な表現をお楽しみください。



通常のコレクション展示では、当館の収蔵品を紹介していますが、本展ではフレネ教育研究会のご協力により、本学結城研究室において保管されてきた同会が所蔵する作品を紹介します。

イベント

博物館講座

※テーマ・日時は決まり次第お知らせいたします。

博物館の展示や所蔵資料を詳しく解説する講座のほか、展示などのテーマに合わせて、講演会やシンポジウムを開催します。



東京家政大学創立140周年記念シンポジウム
「裁縫雛形が語る女性の学びと装い」
2021年開催 オンライン開催



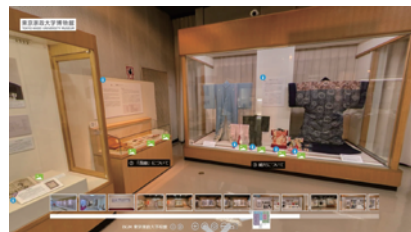
シンポジウム
「『大学博物館』を考える」
2022年開催 対面・オンライン開催

デジタルコンテンツ

当館ではホームページなどで、さまざまなデジタルコンテンツを公開し、情報発信しています。「収藏品データベース」は博物館資料の情報にアクセスできます。また「ポケット学芸員」はアプリをダウンロードすることで、展示室内だけでなく、展示室の外からでも展示中の資料情報にアクセスできます。

「展示解説(動画)」や「バーチャル展示室(360°カメラ)」は過去に開催した企画展もご覧いただけます。

展示やイベントなどの最新の情報は、ホームページのほか、Instagramでも発信しています。



バーチャル展示室「裁縫雛形と自主自律の教え」



デジタルコンテンツ



公式 Instagram



ポケット学芸員

本学学生向け

東京家政大学博物館の展示見学について

見学の際の注意点

- ①展示室、廊下では大きな声での会話はつつしめ、静かに行動してください。
- ②展示室では鉛筆を使用してください(なければシャープペンシル)。ボールペンなどのインクの出るペンは使用禁止です。万が一、インクがとんで資料についたら大変です。
- ③メモやレポートを書く際に展示ケースを机がわりにしないでください。

常設展示での撮影の注意点

当館では通常、展示室内の写真・動画撮影を禁止していますが、本学学生が授業の課題等で博物館の展示物や展示風景を撮影する場合は、4階の常設展①のみ撮影を認めています(一部、撮影を禁止している場所もあります)。

常設展②コレクション展示は全て撮影禁止です。

撮影を希望する学生は、百周年記念館5階の博物館事務室に申し出てください。

手順

- ①百周年記念館5階の博物館事務室に撮影希望の旨を申し出る。
- ②「博物館展示室での撮影の注意点」と「撮影許可済」シールを受け取る。
- ③シールを見やすい位置に貼り、注意点に留意しながら撮影する。
- ④撮影終了後は、シールをごみ箱に捨てる。

学外からの来館者もいらっしゃいます。



みなさんが気持ちよく
見学できるよう、
マナーを守ってください。



※各展示・イベントの最新情報は博物館ホームページで公開しています。ご確認ください。

東京家政大学博物館 検索



東京家政大学博物館

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1(百周年記念館4・5階)
Tel.03-3961-2918 <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/museum/>

